



ゆかりびびど

第 11 回



矢板高校農業経営科3年 農業技術部畜産班

「牛にだってSDGs」

想いを形に環境大臣賞を受賞

矢板高校農業経営科・農業技術部畜産班3年生のメンバーが、県内初となる快挙を成し遂げました。2月4日に東京都で開催された「第9回全国ユース環境活動発表大会」へ、関東ブロック代表として参加し、SDGsを取り入れた畜産の取り組みが評価され、最高賞となる環境大臣賞を受賞しました。

「未来へつなげる放牧牛くびろびろプロジェクトと避難放牧」と題して発表した内容は、製紙会社と協力し、紙の原料となる「クラフトパルプ」を再利用した調合飼料の開発や、矢板で育った母牛を再肥育し、安価で高品質な商品を地元で流通させる地産地消の仕組みづくり、大規模災害時に牛の避難先として学校の放牧場を開放する計画など、牛と共にある未来を見据え、さまざまな取り組みに挑戦してきた「3年間の集大成」と言えるものでした。

メンバーは、「飼料の調合の手間と工夫が大変だった」「牛の体重測定や除ふん作業、消化の状況を確認する便洗など牛の衛生・健康管理に苦労した」「相手が動物なので、性格に合わせて接し方の工夫が必要だった」などそれぞれに苦労や工夫を重ねながら牛への愛情をもって積み上げた3年間の振り返りでした。

計画はまだ道半ばですが、この先は「後輩たちに託す」と話すメンバー。5月には、福島県で原発事故被害にあった畜産農家に話を聞いて計画を具体化させた災害時の学校放牧場の開放について避難訓練を実施予定で、その放牧場をいずれ地域住民や子どもたちに開放する構想もあります。彼らが歩んだ3年間の軌跡は、後輩たちに引き継がれ、矢板高校の歩みとして、これからも持続可能な畜産業の道を切り拓いていきます。

Editor's Note 編集後記

▷表紙の写真は、ちゅーりっぷ保育園の卒園式の合間に、お時間をいただき撮影したものです。保育園のアルバム作成のために来ていたプロカメラマンが見ている中で、私たちの表紙撮影をすることになり、頭真っ白、プチパニック、わき汗が止まりませんでしたw。(DYC)

▷広報紙は市内の方は手にとれますが、市外県外では手にとれません。4月から進学や就職などで市外に引っ越した方々にもふるさと矢板の旬な情報をお届けできたら…。そう、LINEで矢板市を友だち追加してもらえばいいのか!矢板市は現在、友だちを募集中です。(考え中)